



生涯学習だより

第10回 「あんなか市民フェスティバル」

第39回市民展

日時▶11月20日(金)～23日(月・祝)
午前10時～午後4時(最終日は午後3時まで)

会場▶安中体育館(旧安中高校体育館)

作品展▶

○造形美術展(第61回安中市造形美術展)

・チャリティー作品展示有り

○美術手工芸展

・チャリティー作品展示有り

・パッチワーク体験会 22日(日) 10:30～

1階体験特設会場 先着30人 無料

○市民書道展

・チャリティー作品展示有り

○市民写真展

○市民華道展

・生け花体験会 21日(土) 10:00～

1階体験特設会場 先着20人 500円

○郷土資料展

○児童生徒作品展(安中地域小中学校) 2階

○くらしの会工夫展

○ユネスコ資料展

○市民の茶席

21日(土)・22日(日) 10:00～

1階特設会場 先着200人 無料

・子ども抹茶体験コーナー

22日(日) 10:00～正午

1階特設会場

先着20人 無料

主催:安中市市民展

実行委員会

後援:安中市

教育委員会



平成27年度 安中市人権教育講演会

安中市人権教育推進委員会の平成27年度の重点課題は、「犯罪被害者等の人権」です。人権教育推進委員会では、推進計画ののっとり、犯罪被害者などに関する人権問題について理解を深め、本人やその家族に対する無責任な噂や中傷、興味本位の報道などによる偏見や差別を解消するために、市民を対象とした人権映画会や講演会などさまざまな学習機会を設けています。

今回、犯罪被害者などに関する人権問題に対する正しい知識と理解を深めるとともに、正しく行動する実践的な態度を身に付けるために、人権教育講演会を次のとおり企画しました。たくさんのご来場をお待ちしております。

日時▶12月4日(金) 午後3時(開場:2時30分)

場所▶安中市文化センター ホール

定員▶先着800人(入場無料)

内容▶演題:「報道と人権」

講師紹介▶

河野義行さん(松本サリン事件の第一通報者)



愛知県生まれ。名城大学理工学部卒業。1976年長野県松本市に転居。1994年6月「松本サリン事件」に遭遇。自宅付近からサリンが発生していることから、長野県警の家宅捜索を受け、マスコミからも容疑者扱いをされる。身の潔白と名誉回復のため、1995年3月、日本弁護士連合会の人権擁護委員会に人権救済を申し立て、地元新聞社に対して民事訴訟を起こす。1995年「地下鉄サリン事件」が発生。結果的に無実が証明され、長野県警本部、国家公安委員長、マスコミ各社が相次ぎ謝罪。現在は犯罪被害者支援のNPOリカバリー・サポートセンター理事、第二東京弁護士会市民会議委員。「報道改革」「犯罪被害者救済の立法化」などを訴え全国で講演活動をしている。著書として、『「疑惑」は晴れようとも』(文春文庫)、『命あるかぎり』(第三文明社)、『妻よ!』(潮出版社)などがある。

問合せ▶☎生涯学習課生涯学習係(☎内線2245)

平成26年度人権作品集「おもいやり」から戦争から学ぶ人権

安中市立松井田北中学校

3年 小野澤 美紀

今年日本は、戦後70年を迎えました。それだけ長く平和が続いているということですが、70年の時を遡ると、この日本でも多くの戦争があり、たくさんの方がその犠牲になったのだと改めて感じました。現在も新聞やテレビでは、外国で戦争が起きているという話題を目にします。日本も、近隣の国と関係があまりよくないという話を聞きました。ある日のニュースでは、最悪の事態になると戦争になってしまおうと話していました。学校では、日本が戦争をしていた当時、私たちと同じくらいの年齢の人は、戦争に行かなくてはならないか、と聞きました。しかし、国際関係があまり良くない状況になり、他人事ではすまされない、という言葉も聞いても、戦争のない平和な時代に生まれてきた私たちにとって、今までのあった戦争について改めて調べることにしました。

70年前に終結した第二次世界大戦が始まったのは、1939年です。これは、人類史上最大の戦争となりました。この戦争で310万人の方が亡くなったそうです。1941年には太平洋戦争が起こりました。ここで「神風特攻隊」という言葉が目にと飛び込んできました。神風特攻隊とは、爆弾を積んだ航空機で乗組員ごと体当たりする戦法です。生きて帰ってくる確率はほぼ0%の自爆行為でした。これでたくさんの方が亡くなりました。死んでくださった若い人たちが亡くなりました。死んでくださった空へ飛び立っていったのでしょいか。

問合せ▶☎生涯学習課生涯教育係

(☎内線2244)